

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

o-クロロトルエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

A 0 0 0 4 6 7 - 2 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： o-クロロトルエン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 助剤対照区, 0. 200, 0. 360, 0. 630, 1. 10, 2. 00 mg/L
公比：約 1. 8
助剤濃度一定：8 mg/L (HCO-40 および 2-メキシタール 使用)
- 6) 試験液量： 100 mL／容器
- 7) 連数： 4 容器／試験区
- 8) 供試生物数： 20頭／試験区 (5頭／容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、 $\pm 20\%$ を超える値があったため、結果の算出には測定値の幾何平均値を用いた。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.04 mg/L (95%信頼区間 : 0.889~1.61 mg/L)
最大無作用濃度 (NOECi) : 0.482 mg/L
100%阻害最低濃度 : 1.61 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 0.700 mg/L (95%信頼区間 : 0.482~0.889 mg/L)
最大無作用濃度 (NOECi) : 0.482 mg/L
100%阻害最低濃度 : 1.61 mg/L